



令和5年  
愛西市二十歳の集い会場

未来に希望を  
～愛西市二十歳の集い～



愛西市

AISAI CITY  
ASSEMBLY

# 議会だより

No.71  
2023.2.1

12  
月  
定  
例  
会

<b>特集</b>	<b>一般会計補正予算 子育てを応援</b> .....	2
	議論の中から新発見 .....	3
	一般質問 ～市政を問う～ .....	5
	<b>イキイキコーナー</b>	
	第14回 八開ミニバスケットボールクラブ .....	19
	取材しました！愛西市の偉人 中野龍田 .....	20

# 一般会計補正予算

## ～ 子育てを応援 ～

区分	通常利用料	延長利用料
月々利用(月額)	6,000円 (8月のみ) (9,000円)	2,000円
学年始休業日等のみ利用 (4月1日から 同年1学期始業日まで)	3,000円	500円
夏季休業日等のみ利用 (1学期最終日から 2学期始業日まで)	12,000円	2,500円
冬季休業日等のみ利用 (2学期最終日から 3学期始業日まで)	3,000円	500円
学年末休業日等のみ利用 (3学期最終日から 同年3月31日まで)	3,000円	500円

▲放課後児童クラブ利用料一覧

### 放課後児童クラブ 利用時間が 延長されます

「愛西市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部改正」により、放課後児童クラブの利用が午後7時まで延長することができるようになります。

システム改修委託料  
39万6千円

#### Q 改正の経緯は。

A 利用時間の延長については以前から要望があり、指定管理者へのアンケート結果や近隣自治体の状況を勘案し検討していた。利用時間を各クラブの事情に応じて午後7時まで延長する方針を決定したことから、条例の一部改正をするに至った。

#### Q 今後のスケジュールは。

A 令和4年12月から放課後児童クラブの次年度受付を行っている。申請する際

に保護者へ利用時間延長についてのアンケートを行い、希望者の把握を進める。延長利用の希望者がいる施設の指定管理者と利用時間を延長する協議を行い、5年

2月に保護者へ児童クラブ利用決定通知書を送付する際に、併せて利用時間延長の周知を図る。

#### Q 突然の利用は可能か。

A 延長利用の届出を前月に提出することが基本となる。ただし、施設においてほかに延長利用があれば利用できる。

#### Q 1回利用でも月額2千円の負担になる。1日につきという形で検討はしないか。

A 延長利用は公設のみになる。受入れ側も、子ども側も計画的に実施をしていくことにメリットがある。しばらくの間はこの方法でいく。

### 妊娠時・出産時に 各5万円を 支給します

全ての妊婦、子育て家庭が安心して出産、子育てができるよう切れ目のない併走型支援を行うため、応援交付金を支給します。  
5320万5千円

#### Q 応援交付金の内容及び時期は。

A 妊娠届出時に、面談、アンケートを実施。出産届出後に、乳児訪問、アンケートを実施。応援交付金として各5万円を支給する。対象期間は、令和4年4月1日から対象とし、支給開始は5年3月1日以降を予定している。

#### Q 家庭等に事情のある対象者への支給対応は。

A 応援交付金が確実に届くよう面談時に住所地等を確認する。

### 公共施設等の 光熱費の 増額に対応

燃料価格高騰の影響を受け、公共施設等の光熱費及び指定管理委託料を増額します。  
9743万円

#### Q 各施設の値上げ額の算出方法は。

A 一定の上昇分を見込んで算出した。施設ごとに必要額を積算したものである。

#### Q 対象は指定管理施設と直営の施設の公共施設のみか。

A 指定管理施設、直営の公共施設に関わらず、光熱費の高騰により運営する不足見込みを算出した。また、委託事業、補助事業は委託契約や補助金交付要綱に基づき対応。

# 議論の中から新発見

愛西市立田地区交流拠点施設の指定管理者が決まりました

道の駅「立田ふれあいの里」の指定管理者が、立田ふれあいの里協議会に決まりました。

**Q** 指定期間が2年となっている理由は。

**A** 整備事業では、今後都市公園も含めての指定管理を考えている。産直施設が令和7年4月にリニューアルするまでとした。

**Q** 道の駅の売り上げ状況は。

**A** 総売り上げの1%または、上限300万円を市に納めることになっている。指定管理者から、毎年300万円が納められている。

**Q** 7年以降の運営は。

**A** 公募により指定管理者を決め、テナント、産直農家と新たに契約を結ぶことになる。

愛西市観光案内所を設置します

立田道の駅再整備計画に伴い、愛西市観光案内所を設置し、管理に関する条例を制定します。

**Q** 観光情報とは、どのような情報なのか。

**A** 市内の史跡の案内や、観光ポスターの掲示、市のPR動画の放映、パンフレットなどを置く。

**Q** 特産物とはどのようなものか。

**A** 愛西市商工会や観光協会の推奨品や市内の地酒等を展示する予定。

**Q** 職員の配置は。

**A** 案内所における職員の配置は、正規職員2名と会計年度任用職員2名。

**Q** 開放時間は。

**A** 午前9時から午後5時を予定。

**Q** 観光案内所の維持管理費は、誰が負担するのか。

**A** 維持管理費は200万円。市が負担する。

**Q** 観光案内所の建物の構造と大きさは。

**A** 建物は鉄骨造。延べ床面積は147.35㎡。

**Q** 利用開始日は。

**A** 令和5年度の早い時期に利用開始予定。



▲観光案内所完成予定図

## ◆◆推薦◆◆

市の推薦を適任としました。

■人権擁護委員候補者

加藤貞夫氏(上東川町)

山内 潔氏(刈高町)

平野章宏氏(戸倉町)

## 令和4年12月定例会議案審議の結果と議員の賛否

○:賛成  
●:反対

会 派	新生愛西クラブ											公明党 あいさい	日本共産党 愛西市議団	無党派 無党派	無党派 無党派	無党派 無党派	無党派 無党派
	審議結果	近藤武	原裕司	鬼頭勝治	杉村義仁	神田康史	佐藤信男	石崎誠子	角田龍仁	中村文武	佐藤旭浩						
12月定例会議案																	
愛西市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市観光案内所の設置及び管理に関する条例の制定について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市社会福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度愛西市一般会計補正予算(第8号)	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度愛西市一般会計補正予算(第9号)	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛西市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の採択を求める請願書	不	●	●	●	議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

\*審議結果の「可」は可決、「不」は不採択です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。

## 先進地の施策を学ぶ

### 総務文教委員会

#### 「SDGSの推進と小中学校の統廃合」 三重県志摩市

令和4年11月17日

志摩市では、里海プロジェクトを従来から取り組んでおり、その活動を持続可能な海づくりとして拡大していきました。産官学連携や海洋プラスチック削減プロジェクト等を実施。今後は学校や老人会での講座など市内に啓発活動を進めていく予定。個人や企業ともパートナーシップを締結し、ケーブルテレビ等で紹介するなどしています。

学校の統廃合については、平成18年にアンケートを実施。翌年から志摩市学校再編検討委員会



▲東海小学校の視察の様子

を設置し検討を進めました。平成21年2月に「志摩市立中学校再編提言書」を受け、計画を策定しました。

再編が一旦終了した現在は5町にそれぞれ小学校と中学校がある状態。

反対意見等のため合意形成できなかった場合などは、数年かけて合意形成に至ったケースもあったとのことでした。最後に統合新設された東海小学校を見学しました。子ども達も元気に放課後を楽しんでいました。

### 建設福祉委員会

#### 「民間と協力し空き家対策」 三重県伊賀市

令和4年10月21日

人口減少で適正に管理されずに放置されている空き家が問題となっています。

伊賀市は、第1次空き家対策計画で空き家の利活用と特定空き家などの指導強化を行い、平成16年度から4年間で空き家を18%減少させました。

第2次計画では、民間などの協力で、所有者と移住者のニーズを把握。また、建築士協会、住宅建物取引業協会、不動産鑑定士会などの専門機関と協定を結び、ワンストップの窓口を設置。独立したホームページを作り、対象物件の情報や写真の掲載だけでなく、3Dバーチャル内覧や動画



▲伊賀市での聞き取り

による物件紹介。農業委員会と連携し、家庭菜園などを希望する移住者が小規模農地を持つことを可能にするなど、独創的な取り組みを行っています。職員体制も7人(うち3人は、会計年度職員で建築士、元警察官などと充実させています)。

伊賀市は、住みたい田舎ランキング三重県総合1位、東海エリア総合6位です。空き家対策を街づくりにしつかりと位置付けて対策を行っています。

### 議会広報特別委員会

#### 「タブレットを活用した編集と委員会放映」 愛知県長久手市

令和4年11月4日

長久手市議会では、議会だよりを入稿・編集・校正まで印刷は行わず、編集委員がタブレットを活用して作っています。

議会放映では、平成23年度から一般質問を録画配信、24年度からライブ配信を始め、今年度から、本会議全日程と委員会の録画・ライブ配信を予定しています。また、令和4年には、新型コロナウイルスの影響で意見交換会ができないため、市民アンケートに取り組んでいます。

長久手市は、ペーパーレス化の取り組みで、早くからタブレットの活用を検討し、議会の広報公

聴の取り組みも全議員が広報部会か公聴部会に属して行い、積極的に進めているところが注目されます。

尾張旭市では、議会の複数会派から提案があり、議会運営委員会で協議、平成23年度から本会議の議会放映をライブと録画で配信しています。録画は2日後には配信しています。委員会の録画中継を協議しているとのことでした。



▲尾張旭市での聞き取り

# 市政を問う



## 13議員が一般質問

### 一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり40分です。

●定例会第2日目および第3日目に、13人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

### 12月6日

#### 吉川三津子 議員(P6)

- ◆ワクチン接種で死亡 なぜ弔問しない

#### 真野 和久 議員(P7)

- ◆高齢者タクシー助成 改善の時期は
- ◆「生徒減なら統廃合」でない方向を

#### 佐藤 旭浩 議員(P8)

- ◆イベントを活かしたにぎわいづくりを
- ◆小中学校体育館のエアコン設置は

#### 高松 幸雄 議員(P9)

- ◆学校規模適正化について教育長の考えは

#### 近藤 武 議員(P10)

- ◆藤浪駅前広場の再整備 市長の思いは

#### 石崎 誠子 議員(P11)

- ◆インクルーシブ遊具設置の考えは

#### 角田 龍仁 議員(P12)

- ◆市の不登校生徒への対応、対策は
- ◆愛西市職員の人材育成(教育)は

### 12月7日

#### 河合 克平 議員(P13)

- ◆ワクチン接種後に急逝、市長の行動は

#### 山田門左エ門 議員(P14)

- ◆将来2校になる中学校統合の見直しを
- ◆防災道路の整備はどうなっているか

#### 馬淵 紀明 議員(P15)

- ◆津波避難計画 見直しが必要では
- ◆自転車の活用推進を

#### 原 裕司 議員(P16)

- ◆市直営から佐屋苑に業務委託の理由は

#### 山岡 幹雄 議員(P17)

- ◆各学校にスマイルルームを設置しては
- ◆マイナンバーカード啓発と促進は

#### 中村 文武 議員(P18)

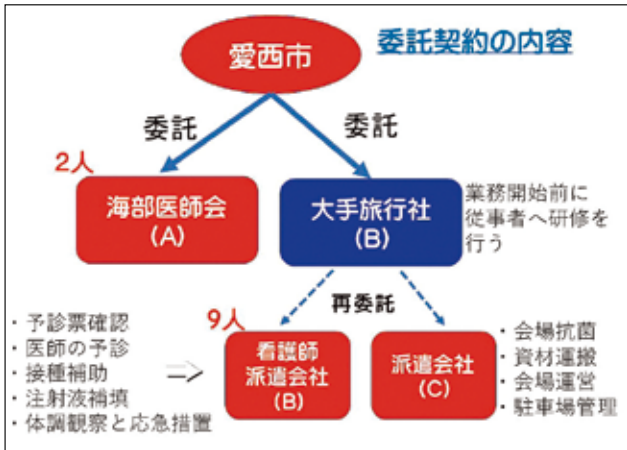
- ◆弥富市の人口が減らない要因は
- ◆第3子保育料無料化の実施は

# ワクチン接種で死亡 なぜ弔問しない

吉川 三津子議員



事故調査委員会の設置・協議が先決  
市長



▲コロナワクチン接種の委託契約 (赤枠=当日スタッフ)

**問** 市は、集団接種業務を海部医師会と大手旅行社に委託し、旅行社は、更に看護師派遣会社と一般派遣会社に再委託してスタッフを集めている。異なった組織の人たちで危機管理体制ができていたか疑問だ(左図)。

**答** 事故調査委員会を設置し、協議を進めることが先決だ。

**問** 運ばれた病院に市は行かなかった。市は、女性の死を翌日に遺族から聞き、その日は何事もなかったかのように集団予防接種が実施された。

**答** 調査委員会の結果を受け止め、対応する。

**問** 遺族は「家族の死は体何だったのか」という思いだろう。市長、線香二本をあげては。

**答** 接種会場には、医師2名を配置している。急変時、医師1名の対応だったが、11月19日から医師2名対応とした。

**問** 国の手引き書では、接種会場に運営管理責任者1名を置くことになっている。誰が担っていたのか。

**答** 当日の運営管理者は、委託先の民間機関だ。

**問** 緊急対応マニュアルを担当は共有できていたのか。

**答** 役割分担は共有されていた。

**問** 30分で共有は可能だ。

**問** 委託契約書に、看護師の事前研修が義務づけられているが、どのような研修か。

**答** 研修は把握していないが、基本的な知識は持っている。

## その他の質問

- 休日保育の実施を
- 農村地域の空き家対策を

**問** 看護師の勤務は、接種開始の30分前からの契約だ。現場の支度もあり、他自治体は支度時間を1時間とついているところもある。

**答** 契約に無理はなかったのか。

**問** 予防疫接種について周知してあるので、当日は



# 高齢者タクシー助成 改善の時期は

真野 和久議員

令和6年4月からの改正の方向で進める  
保険福祉部長



▲妊産婦も対象となる津島市の助成制度

**問** 巡回バス運営協議会について、今年度の協議内容は。

**答** 今年度は、ルート別の月別集計結果や停留所別集計結果、また、近隣自治体における自主運行バス等の運行状況調査結果などを活用して、ルートや運行ダイヤ、巡回バスの運行に係るニーズの把握について協議を進めていきたい。

**問** 佐織庁舎から本庁舎や市民病院、海南病院への直接乗り入れ、併せて巡回バスの増設などは検討課題とするのか。

**答** 協議の中で検討していきたい。

**問** 高齢者福祉タクシー助成制度について、改善の時期は。

**答** 今年度中に方向性を決定し、制度改正の周知後の令和6年4月からの改正の方向で進めていく。

**問** 津島市のように、高齢者や障がい者だけでなく、妊産婦などへの拡大も必要ではないか。

**答** 必要な方に必要なサービスを提供することを考えれば、妊産婦の方の移動手段の確保も必要だと思うが、全体的な検討の中で進めていく必要がある。

「生徒減なら統廃合」でない方向を

**問** 立田北部小学校の早尾地区では草平小学校に変更したいという議論があるが、こうした地域の要望を検討すべきだ。

**答** 生徒数が減れば統廃合、統合するという方向のみが道ではない。小規模や少人数でも学校を守る方向も必要ではないか。  
**答** 特に小規模中学校で見られる傾向がある課題を解消していくことが重要だ。

## その他の質問

●宮田用水改修後の道路、速度制限を

**問** 協議会后に説明会を行うやり方では、市の結論の押しつけになる。素案の段階でしっかりと市民に知らせて考えてもらう必要があると考えるが。

**答** 具体的な内容が定まっていない段階で、説明会を開催する考えはない。

# イベントを活かした にぎわいづくりを

佐藤 旭浩議員

市の補助団体等の実施事業は支援する  
産業建設部長



▲あいさいさん祭りの様子

**問** イベントにおける地域の活性化について、本市が協力できるような体制を考え、親水公園のスペースや藤浪駅や勝幡駅前広場で定期的なマルシェや朝市を開催することは可能か。

**答** 親水公園は愛西市都市公園条例第2条に基づき行為許可を受けることで開催することができ、駅前広場においては、道路交通法第77条に基づく道路使用許可を受ける

ことで開催することができ、ただし、愛西市駅前広場等管理条例第2条第2項に基づき、告示された区域内では同条例第4条に基づき行為許可を受ける必要がある。

**問** 市役所の交流スクエアを活用して定期的なマルシェや朝市を開催することは可能か。

**答** 貸し出しは行っていない。本市が実施する行事のみに活用している。

**問** 民間の事業者が定期的にマルシェや朝市を行えるような市の支援は可能か。

**問** 体育館にスポットエアコンを導入する検討はないか。

## 小中学校体育館の エアコン設置は

**問** 小・中学校の体育館のエアコン設置に向けて市としての考え、費用は。

**答** 現時点では既に設置済みの体育館以外への設置計画はない。近隣自治体の状況を踏まえ、今後の方針を検討する。エアコン設備の6千万円程度に加え、体育館の断熱状況を改善するための改修工事、電気式の場合は受電設備と配線工事などの費用が別途必要。

**答** 従来型のエアコンやスポットエアコンなどの方式で費用面や冷却効果などを確認し、今後のエアコン設置を検討する。

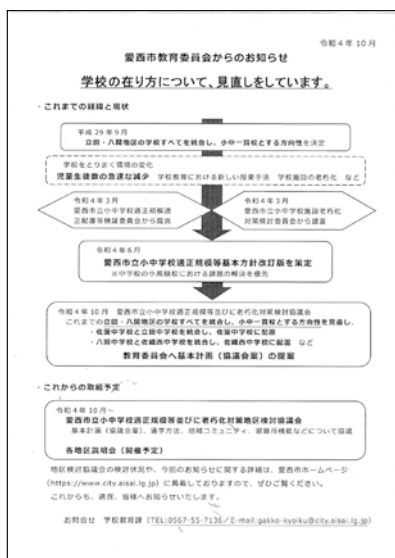




# 学校規模適正化について 教育長の考えは

高松 幸雄議員

新たな学校づくりを支援していきたい  
教育長



▲愛西市教育委員会から配布されたお知らせ文書

**問** 愛西市では、立田・八開地区の学校を全て統合し、小中一貫校にするという案があったが、実現に至らなかった。その後、愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会から提出のあった基本計画案の概要は。

**答** 将来像として、中学校は本市の南部と北部に1校ずつとするが、一度に統合すると過大規模校や大規模校となってしまう

ので、段階的に佐屋中学校と立田中学校を統合して佐屋中学校に配置。八開中学校と佐織西中学校を統合して佐織西中学校に配置する。その後、永和中学校や佐織中学校は生徒数の推移を注視して統合する。

小学校は、学校ごとに適正規模に向けた手法や老朽化対策の時期・手法について対策をまとめている。

**問** 現在、各地区の検討協議会では、どのような内容を議論し、いつまでに行う予定か。

**答** 中学校は、統廃合後の通学時間・距離の確認及び通学方法の検討、学区再編成の必要性について。小学校は、全学年1学級の小規模校における適正規模の検討や中学校の統廃合に伴う小学校への影響のほか、小・中学校とも老朽化対策の時期と手法の妥当性、その他、疑問点や問題点、課題となる事項と解決策や地域コミニティや避難所等の機能確保、統廃合の跡地利用などについて。

今年中に各地区の議論をまとめたかと考えているが、議論の状況によっては期間を延長することも考えられる。

**問** 今後の学校規模適正化の取り組みに対する教育長の思いは。

**答** 1学年は複数クラスが望ましい。同じクラスでも、30人規模のクラスと10人規模のクラスでは学習効果に開きが出る。今後加速する少子化に加え、近隣の中高一貫教育の導入で、さらに本市の中学生の減少が予測される。子どもたちの学びや成長を阻害する対策を講じておくことは重要だ。中学校の統合による不安感や通学等の課題はあるが、新たな学校づくりを全面的に支援していきたい。

新たな学校づくりを全面的に支援していきたい。

# 藤浪駅前広場の再整備 市長の思いは

近藤 武議員

まちづくりの核となる場所に  
市長



**問** 藤浪駅前広場の再整備、どのような考えで取り組んでいるのか。

**答** 基本理念として、通常時には憩い・にぎわいの拠点、災害時には防災拠点を目指す。

コンセプトを「市の玄関口としてにぎわいのある安心・安全に対応する空間づくり」として、「市民の安全を守る防災拠点」にぎわいの空間の創出「幅広い世代の交流の場」広場空間による憩い

の空間」の4つの基本方針を定めている。

**問** 清林館高校の生徒や地元関係者からの提案や意見を、整備方針にどのように反映したか。

**答** 当初の計画に比べ、ソーラーパネルを内蔵した街灯の追加、キッチンカーが進入しやすいような動線の追加、桜の木を新たに植樹するなどの変更を行った。



▲現在の藤浪駅前

**問** 駅前広場の再整備を通して、どのようなまちづくりにつなげていきたいか。

**答** 鉄道を利用する方だけでなく、地元の方や市民、市外から訪れる方に気軽に立ち寄ってもらえる場所にするこで、にぎわいが生まれ、まちの活性化、まちづくりの核となる場所にしていきたい。



▲改修後のイメージ図



# インクルーシブ遊具 設置の考えは

石崎 誠子議員

都市公園に設置を予定している

産業建設部長



▲車イス利用者にも優しい複合遊具

**問** 道の駅と都市公園を一体利用することによる

効率的な運営や利便性

向上の具体的な内容は、

**答** 効率的な駐車場の利

活用や農産物直売所と

都市公園内に設置する飲

食施設の連携運営が可能

となり、利便性も向上す

るため、花はす開花時以

外の季節の集客確保に繋

がたい。

**問** 集客アップを図る仕

掛けは、

**答** 西ゾーンには、ドッグ

ランを設置予定。東ゾー

ンには、飲食施設のほか、

民間事業者のノウハウを

活用し、公園ににぎわい創

出を図る施設を設置予定。

**問** 都市公園にバーベキ

ュー施設の計画があるが、

近隣に類似施設があり、

集客に影響するのでは、

**答** 手ぶらで楽しめる

スタイルを予定しており、

機材を自ら設営、食材を

持参して調理するスタイ

ルの木曽川左岸のデイキ

ャンプ場とは利用者の差

別化を図られると考える。

**問** 駐車場不足や渋滞

が懸念されるが、対策は、

**答** 西ゾーンに整備する

多目的広場を臨時駐車

場として活用する。東ゾ

ーンの駐車場は、出入口

を分離することで、公園

利用者のスムーズな動線

を確保し、渋滞緩和に努

める。

**問** 新たな公園には女性

の視点が不可欠と考える

が、女性の視点を取り入

れているのか。

**答** 基本計画策定委員

会には、市民代表として

女性2名がメンバーに入

り議論を交わしている。

花はす田にインスタ映

えスポットとなるような

施設を設置。園内の各施

設の規模や配置、利用者

の動線は誰もが快適に利

用できるようユニバーサ

ルデザインの視点を取り

入れたものになりたい。

**問** 令和3年6月議会

で「新たな都市公園の子

どもの遊び場に、障がい

の有無に関わらず、全て

の子どもが同じように遊

ぶことができるインクル

ーシブ遊具を設置してい

ただきたい」と質問した

が、現在の市の考えは、

**答** 都市公園に整備する

遊具等については、インク

ルーシブ遊具の設置を予

定している。

# 市の不登校生徒への 対応、対策は

角田 龍仁議員



適応指導教室設置及びタブレットを活用  
教育部長



▲適応指導教室「すまいる」  
(市江地区コミュニティセンター)

**問** 愛西市小中学校の不登校の状況は。

**答** 小学校では全児童数2,884人に対し34人、中学校では全生徒数1,608人に対し82人。

**問** 市の不登校生徒への対応・対策は。

**答** 社会的自立や学校復帰などを目的とした、柔軟な対応をするための適応指導教室「すまいる」を市内2カ所設置。また不登校児童生徒に対し、

タブレットを活用したオンラインでの授業参加などを取り入れている。

**問** コミュニティ・スクールの作る考えは。

**答** コミュニティ・スクールの導入に関しては、学

校・家庭地域が育てたい子ども像や目指す学校像を共有し、一体となつて子どもたちを育み、課題の解決に取り組むことができることから、今後、検討をしていく。

**問** コミュニティ・スクールの導入に当たっての課題は。

**答** 人材確保、教職員の負担の増大、保護者や地域のコミュニティ・スクールへの認識不足などが考えられる。

## 愛西市職員の 人材育成(教育)は

**問** 人材育成(教育)はどのように行っているのか。

**答** 人材育成方針に6つの目指すべき職員像を掲げて取り組んでいる。

**問** 県からの権限委譲などで専門的な仕事も多くスペシャリストの人材も求められるが、体制づくりは。

**答** 県などへの派遣・研修へ積極的に取り組めるよう、人材確保にも努めていきたい。

**問** 令和4年度の途中退職者及び休職者の人数は。

**答** 今年度の途中退職者は7人で、休職者数は復職者を含め13人。

**問** 新しく替わってきた職員に負担はかかっているか。

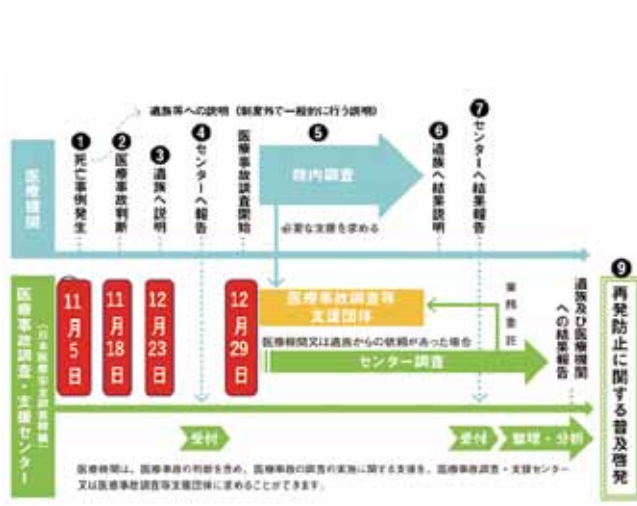
**答** 事務引き継ぎの徹底や周りの職員のサポート、協力により、これまでも行われてきた。



# ワクチン接種後に急逝、市長の行動は

河合 克平議員

情報収集や内部での検討等、対応を協議  
市長



▲医療事故調査の流れ

**問** 市長が最高責任者として現場に出て遺族と接し、遺族の悲しみを共有することで初めて、責任を持った対応になり、市民に信頼してもらえ、ことなる。申問を行い、その後、市長が説明を行う考えは。

**答** 医療事故調査委員会の遺族の方への説明は、理解している担当職員で説明をする。

**問** 医療事故調査委員会の前に、市長は遺族への説明に行く予定はないのか。

**答** 今回の事案が発生し大変悲しく、自分事として受け止めている。しっかりとした医療事故調査委員会を開催し、検証することが我々の責務だ。

**問** 受け止めて申問を行い、遺族に対して説明を行うという理解でいいか。

**答** 今後、自分として責任のある行動をしていかなければならないと考えている。

**問** 意見を自分で受け止めて行動していきたい。

**答** 意見を自分で受け止めて行動していきたい。

**問** 11月5日に遺族と連絡が取れずそのままにしていた。また、11月9日以降、12月5日まで説明していない状況で遺族に寄り添う気持ちが感じられない。市長のこの間の行動、どのように危機管理し、危機を脱出しようと考えていたのか。

**答** 非常に重大な案件であり、重く受止めている。市の対応してきた経緯について、医療事故調査委員会の結果を真摯に受け止めて行動する。この事案が発生した後、情報の収集や内部での検討等、様々なことを行い、市の対応を協議してきた。

**問** 市民の命が失われ、市民の命を守る、市の最高責任者の市長が陣頭指揮を執ることが必要。医療事故調査委員会は法律で決められている。人道的であり、市の最高責任者として、市民の思い、遺族の思いに寄り添うのか。

# 将来2校になる 中学校統合の見直しを

山田 門左工門議員

地区検討協議会の議論を尊重する  
教育部長



▲統合が検討されている立田中学校

**問** 学校規模適正化協議会では、中学校を南北2校しか残さない計画案が出されているが、見直す考えはないのか。

**答** 今後の児童・生徒の減少の推移が予測を大きく下回る状況や、施設の老朽化が進んでいる事など深刻な状況である。

この基本計画協議会案は十分に検討された提案と受け止めている。今後は各地区検討協議会での議論を十分に尊重し、基

本計画の策定に向け取り組んでいく。

**問** 小中学校規模適正配置等検証委員会から、これまで各種協議会が開催されているが、5人の教育委員は全く関与していない。どうしているのか。

**答** 教育委員が、基本方針や基本計画の重要事項を判断・決定するに当たって、各種協議会の状況を逐次報告しており、直接

関わる必要がないものと考えている。

**防災道路の整備はどうなっているか**

**問** 地域防災計画における緊急輸送道路としての補完道路の整備状況は、どうなっているのか。

**答** 緊急輸送道路は、避難所等への物資供給等の緊急車両の通行を確保するための重要な道路。その補完道路として36路線を指定し、車両の通行に支障のない道路に整備している。

地内は、県営ほ場整備事業として整備されたが、歩道は設置されなかった。

**問** 市道2号線に道路幅が狭いエリアがある。整備する計画は。

**答** 道路の拡幅は考えていないが、舗装が必要な区間は、国の交付金を活用し整備を行う予定。

## その他の質問

●観光協会を遊休施設に移転しては

**問** 立田大橋の東側にある立田町交差点から八輪小学校に延びる、農免道路である市道2号線は、途中までしか歩道整備されていないのは何故か。

**答** 合併前に立田村地内は、農道として整備し、その後立田村により片側歩道が設置された。八開村



# 津波避難計画 見直しが必要では

馬淵 紀明議員

実情に即して見直しを進めている  
企画政策部長



▲避難困難地域抽出図

**問** 愛西市津波避難計画策定後、改正したところは。

**答** 平成29年3月に策定後、改正していない。

**問** 愛知県の市町村津波避難計画策定指針を見ると、本市の計画と異なるところがいくつかあるが、その理由は。

**答** 県の指針は、令和2年3月に改正している。本市の計画は更新していないので、改正が必要となる箇所がいくつかある。

**問** 計画を見直すことが必要ではないか。

**答** 実情に即した形で計画の見直しを現在進めている。

**問** 本市の計画には「避難困難地域に対して、指定緊急避難場所の追加が急務である。必要に応じて、浸水想定区域内の公園等への人工的な高台の設置等を検討する」となっているが、検討しているのか。

**答** 避難困難地域の対

策として、これまでも高い建物である民間の既存施設との協定などを進めてきた。今後も引き続きこつした取り組みを進めていく。

**問** 高台の設置の対策は考えていないのか。

**答** 民間の既存施設との協定などを進めていく以外は、今のところ計画はない。

## 自転車の活用 推進を

**問** 令和元年9月議会でも質問したが、改めて自転車活用推進計画について、市の考えは。

**答** 自転車活用推進法第11条では、市町村における自転車活用推進計画の策定について規定され、本市も、国や県の推進計画の内容について把握に努めている。今後、県や近隣市町村と連携をし、

しっかりと検討していきたいと考えている。

**問** 自転車は身近な交通手段であると同時に、多様な課題に対する解決策になると思う。まちづくりに自転車を有効活用していく考えは。

**答** まちづくりという視点で自転車の活用を検討していくことも必要であると感じている。

# 市直営から佐屋苑に 業務委託の理由は

原 裕司議員



民間の専門性やスキルを活かす  
保険福祉部長

包括支援センター	地区	主任ケアマネ	保健師	社会福祉士	ケアマネ	相談件数
市役所	佐屋・佐屋西小校区	1	2	1	1	2,250
佐屋苑	市江・永和小校区	1	1	1	1	3,037
社会福祉協議会	立田・八間	1	1	1	0	1,358
社会福祉協議会佐織	佐織	1	2	1	0	3,087

▲各地域包括支援センターの配置人員と相談件数

**問** 高齢者が住み慣れた地域で過ごすためには、介護・医療・介護予防そして生活支援など、必要なサービスを提供できる体制を整えなければなりません。その拠点が地域包括支援センターだ。支援センターの主な業務は。

**答** 地域住民の健康・医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に、第1号介護予防支援、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続

的ケアマネジメント支援の業務を担っている。

**問** 職員配置の基準と相談件数は。

**答** 区域内65歳以上の第1号被保険者数に基づき、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの3専門職で、おおむね、3千から6千人未満で各職種1名を配置。相談件数は、令和3年度9,732件だ。

**問** 高齢者虐待に関する相談件数が116件と高い数値だ。支援が長期化する場合、他機関との連携は。

**答** 定期的に関わりのあるケアマネジャー、介護保険事業所と連携し、異変があった際には連絡を密にしている。対応が困難な事案は、警察の協力を得ながら対応している。

**問** 地域包括支援センターの認知度を高める取り組みは。

**答** 支援センターのPRに当たり、あいさいさん祭りでブースを出展、来場者にフレイルチェックの実施やパンフレットを配布し好評を得た。

**問** フレイル予防対策の取り組みは。

**答** 介護が必要となる時期を先送りにするためには、栄養・運動・社会参加が予防のポイントだ。フレイル予防教室等の健康教室やサロンにて健康教育を行っている。

**問** 市直営の地域包括支援センターを佐屋苑に業務委託する理由、今後の課題解決の取り組みは。

**答** 民間の専門性やスキルを活かすことを目的に、プロポーザル方式で契約を進めた。市は、国の定めた指標に基づき事業評価を行っている。課題や目標を設定し、円滑に運営できるように支援する。





# 各学校にスマイルルームを 設置しては

山岡 幹雄議員

設置は慎重に検討する必要がある

教育部長

**問** 不登校の現状は。  
**答** 令和3年度、小学校で34人、中学校で82人。

**問** 不登校生徒や保護者が傷つくことなく支援できる体制の取り組みは。  
**答** 学級担任、養護教諭、スクールカウンセラー等による児童・生徒や保護者との教育相談体制の充実を図っている。

**問** 名古屋市は不登校生徒の居場所として、学校にスマイルルームを設置。職員が常勤し、間仕切りにより周囲から見えない場所で勉強できる。生徒が自分のペースで過ごせ、学校に行けるメリットを強調する。  
不登校生徒を支援するため各学校にスマイルルームを設置しては。  
**答** 設置は、慎重に検討する必要がある。

マイナンバーカード  
啓発と促進は

**問** 国は経済対策で新マイナポイント事業を開始する。市の交付率は。

**答** 令和4年11月27日現在48.7%。

**問** マイナンバーカードは、保険証やお薬手帳、運転免許証と二体化を検討中で、様々な機能を保持する予定だ。社会保障や年金などの手続も円滑に実施できる環境整備が進んでいる。  
デジタル庁は、健康保険証を廃止し二体化を目指す方針を発表した。カードの普及と活用の促進をどのように行うか。

**答** 広報、ホームページ等で情報を伝える。12月から近隣集客施設でマイナンバーカードの啓発、申請支援を行う。  
カードの交付は、平日に来庁が困難な場合は、

土・日の臨時開庁交付や毎月第2日曜日の開庁日、第2・第4水曜日の延長業務では予約制で交付を行う。

利活用については、市民課でのカードの申請書作成支援や健康保険証と公的個人認証サービスで利用できる。市独自の活用は今後の検討課題だ。



▲マイナンバーカード特設会場

# 弥富市の人口が減らない要因は

中村 文武議員

区画整理やマンション開発等  
企画政策部長



**問** 20代30代の転出人は。

**答** 令和2年度、20代884人、30代256人、3年度、20代818人、30代358人。

**問** 平成17年から比較して弥富市の人口は横ばい、本市は3千人以上減少だがその差の要因は。

**答** 本市は平成15年から、弥富市は26年から自然減である。一方で弥富市は29年から3年間、社会増となっている。弥富市に確認したところ、市役所東側の土地区画整理事業やマンション等の開発があげられる。なお、本市も令和元年及び2年は転入超過である。

**問** 人口減少対策には土地利用と子育て政策が重要だと考えるが、都市計画法第34条第10号の住宅系の地区計画に必要な手続きは。

**答** 1ha以上20ha未満の概ね整形な区域で、全ての利害関係を有する土地所有者の合意が必要。地域住民等との合意形成を図った上で案の作成を行い、縦覧、都市計画審議会、知事協議を経て都市計画決定がされる。

**問** 農地の課税は。公平性の観点から評価等について検討する。

**答** 農地の課税は。公平性の観点から評価等について検討する。

**第3子保育料無料化の実施は**

**問** 第3子の保育料無料化は。

**答** 軽減措置を実施している。さらなる軽減は考えていない。

**問** 第3子出産時給付金の増額は。

**答** 増額については考えていない。

**問** 近隣市町の状況は。

**答** あま市で第3子の保育料を所得割額が9万7千円以上の第5階層から第8階層まで拡大して無料化を実施。稲沢市では中学3年生以下の子どもを3人以上扶養している世帯の第3子以降の保育料を無料に、2人以上扶養している市民税割額が7万7101円未満の第4の2階層までの世帯について、年齢が高い方から2人目以降の子どもの保育料を無料にしている。津島市、弥富市は本市同様の軽減措置を実施。

	第4階層*相当 保育料(円)	第3子への軽減措置
愛西市	14,400	第4-2～ 第4-3階層は無料、 第5・6階層は半額
あま市	18,000	第8階層まで無料
稲沢市	22,000	中3以下の子ども 3人の場合無料等
津島市	19,000	本市同様
弥富市	16,500	本市同様

※市民税所得割額97,000円未満の保育標準時間での比較  
▲保育料等の比較

# イキイキコーナー

## 第14回 八開ミニバスケットボールクラブ

**練習日時** 火・木 19時-20時45分  
土・日 13時-16時45分  
(休日は不定期で試合があります)

**部員数は** 18名(女子17名・男子1名)

### 指導者から一言

仲間と一体感そして、体力作り。運動する事によって仲間と助け合い、勝つ喜び、負けた時の悔しさを学び、最後まであきらめずにやりとげる事はこれから先の人生、必ず役立つと思います。強い体は大きな財産です。

### 保護者から一言

子供たちがのびのびとバスケットボールを楽しめる雰囲気があるクラブです。

**将来の夢**  
バスケットボール選手、トレーナー、看護師などなど

**入部動機**  
上級生に誘われて、体験会に参加してみたらすごく楽しかったから!!



**ミニバスで学んだこと**  
仲間の大切さ  
挨拶の大切さ  
気持ちを伝えあうこと

**悔しかったこと**  
練習したことが  
試合で発揮出来なかった

**楽しかったこと**  
違う学校の友達が  
たくさんできた  
試合で勝ったとき



開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「愛西市議会だより」にするため、**写真掲載とコメントを募集します。**

小中高生などを対象としたサークル活動・スポーツ団体などで、活動内容を撮影した写真と活動内容に対するコメント。

**お問い合わせ・送付先**

愛西市議会広報特別委員会(市議会事務局)

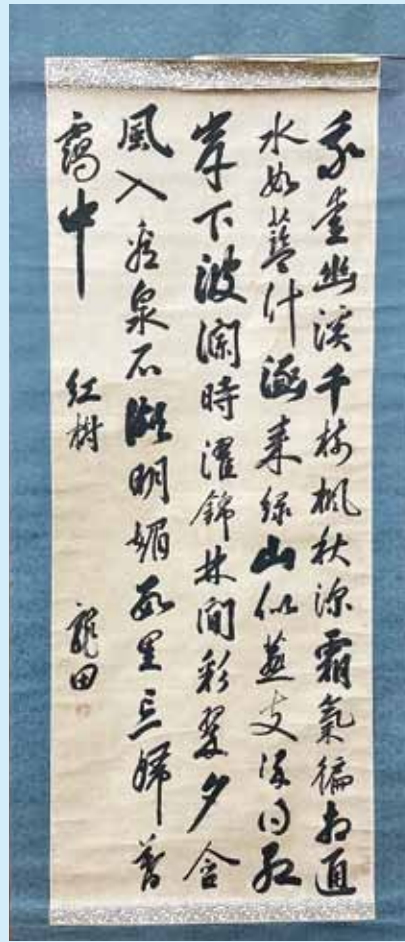
〈住所〉〒496-8555 愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141  
〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

第28回取材しました!  
愛西市の偉人⑩

漢詩家  
なか の りゅう でん  
中野 龍田

- Q いつ頃の人?  
A 江戸中期から後期(1756年～1811年)。
- Q 出身は?  
A 新右工門新田町出身(立田地区)。
- Q 青年時代は?  
A 身体が弱かったので、若い時から学問をもって立つことを志し、京都で儒学を学び儒学者として有名になった。公卿や学者の人々が多く教えを受けていた。
- Q 功績は?  
A 漢詩を得意としており、桜を好んでいたことから、桜の詩を100編集めた「桜花百絶」を著した。  
絵画に対する見識も高く、芥子園画伝の誤りを校訂し絵が有名になった。

取材協力 石田泰弘(生涯学習課長)  
立田北部小学校



▲中野龍田の書(立田北部小)

令和5年3月定例会の開催予定

- 2月27日(月) 本会議(招集日)議案上程
- 3月 7日(火) 本会議(第2日)一般質問
- 3月 8日(水) 本会議(第3日)一般質問
- 3月13日(月) 本会議(第4日)議案質疑
- 3月16日(木) 総務文教委員会
- 3月17日(金) 建設福祉委員会
- 3月24日(金) 本会議(最終日)討論・表決

クローバーTV放映日時(チャンネル121)

- 3月14日(火)午前10時～・午後7時～
- 3月15日(水)午前10時～・午後7時～

- 本会議及び委員会は午前9時30分から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

皆様には健やかに令和5年の初春を迎えられたことをお慶び申し上げます。  
広報委員会一同も新年を迎え、新鮮な気持ちで編集作業に取り組みました。

今議会では、放課後児童クラブの利用時間の延長を可決し、4月から実施されます。

議会だよりが、市民の皆様にとって親しみやすい誌面になるよう毎回、改善・工夫をしながら取り組んでまいります。

これからも引き続き、皆様にご愛読いただけるよう広報委員一同頑張ってまいりますので、よろしくお願いたします。

(佐藤 旭浩 記)

- 委員長 真野 和久  
副委員長 原 裕司  
委員 高松 幸雄  
山田門左工門  
中村 文武  
佐藤 旭浩